



平成23年5月12日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

特別損失（固定資産の減損、資産除去債務、 関連会社株式の減損、子会社投資損失引当金）の発生、 及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成23年3月期決算を確定するにあたり、特別損失（有形固定資産の減損、資産除去債務、関連会社株式の減損、子会社投資損失）の発生が認められましたので下記の通りお知らせいたします。

又、これらの損失の発生を踏まえ、平成22年11月11日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正することを、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 固定資産の減損

当社は昨今の業績の低迷状態が継続していることを勘案し、当社の保有している全資産について減損の要否を慎重に検討いたしました。各事業部門の事業用資産をグルーピングし、当社グループ全体から得られる割引前将来キャッシュ・フローを算出し、平成23年3月末日現在の固定資産の帳簿価額と比較検討いたしましたところ、割引前将来キャッシュ・フローが平成23年3月末日現在の固定資産の帳簿価格を下回る見込みとなりましたので、下記の通り合計321,424千円の減損損失を計上することになりました。

(単位：千円)

	工業用品 事業	食品医療 用品事業	スポーツ 用品事業	全社資産	合計
建物	9,049	3,008	2,607	452	15,116
構築物	10,108	4,272	2,438	—	16,818
機械装置	35,951	15,410	12,613	—	63,975
車輛運搬具	—	—	717	—	717
工具器具	5,422	429	3,018	2,651	11,519
建設仮勘定	201,635	3,937	2,247	—	207,819
無形固定資産	551	—	—	3,279	3,831
その他	540	179	905	—	1,624
合計	263,260	27,235	24,545	6,382	321,424

(2) 資産除去債務

今期より資産除去債務会計基準の適用に伴い、当社が賃借している土地の不動産賃貸契約に係る原状回復義務等の債務について調査を実施しましたところ、当連結会計年度以前に係るこれらの債務が146,095千円となることを確認いたしましたので特別損失として計上することといたしました。

(3) 関係会社株式評価損

当社の100%連結子会社である昭和ゴム㈱につきまして、業績の不振が継続していることや、同社を取り巻く景気動向を勘案いたしますと、即時の業績改善を見込むことは困難であると考え、保守的に当社が保有する昭和ゴム㈱株の簿価を全額(658,740千円)減損損失として計上することといたしました。

尚、当該関係会社株式投資損失につきましては、親会社と子会社の資本取引となりますので、当社単体の業績数値には影響を及ぼしますが、当社連結決算の業績数値に与える影響はございません。

又、同社に対しては、改めて当社から資本注入を行うことで財政状況を改善し、業績改善を目指していく予定であります。

(4) 子会社投資損失引当金

当社の100%連結子会社である昭和ゴム㈱および㈱ジョーワコーポレーションは当期純損失を計上しているということから、昭和ゴム㈱及び㈱ジョーワコーポレーションの財務状況を勘案し、保守的に当社において昭和ゴム㈱及び㈱ジョーワコーポレーションの当期純損失相当額(349,350千円)を子会社投資損失引当金繰入額として特別損失に計上することといたしました。

尚、当該子会社投資損失引当金は、当社単体の業績数値には影響を及ぼしますが、当社連結決算の業績数値に与える影響はございません。

2. 連結業績予想数値の修正 (単位:百万円)

23年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,443	△338	△673	△679	△14.60
今回修正予想(B)	3,361	△547	△904	△1,384	△29.76
増減額(B-A)	△82	△209	△231	△705	
増減率(%)	△2.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,126	△421	153	155	3.40

3. 個別業績予想数値の修正

23年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	265	△62	△416	△417	△8.96
今回修正予想(B)	265	△55	△393	△1,618	△34.79
増減額(B-A)	0	7	23	△1,201	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	1,661	△241	374	397	8.69

4. 修正の理由

平成23年3月期連結において、売上高につきましては、昨今の景気動向の影響から企業の設備投資関連の需要回復に遅れが生じ、その遅れが当社子会社の主力事業であるゴムライニング及び工業用ゴム製品の受注状況に影響し、当初予想より82百万円下回る結果となりました。

営業利益につきましては、上記に記載いたしました当社連結子会社の売上の減少に加え、昨今の金利動向から退職給付費用の算定に利用していた割引率を2.5%から1.7%に引き下げたことによる退職給付費用の増加（32百万円）及び、原材料の高騰や不良損金の増加、東日本大震災の復旧に掛かる工場の稼働率低下により売上原価が上昇することとなり予想よりも営業損失、経常損失が拡大する結果となりました。

又、当期純利益につきましても、上記1. に記載させていただきました特別損失、及び既に公表させていただいております有価証券の評価損472百万円の影響により大幅な赤字を計上することとなりました。

当社単体の業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益とも、ほぼ予想通りとなりましたが、当期純利益につきましては、上記1. に記載させていただきました特別損失の(3) 関係会社株式評価損（658百万円）及び(4) 子会社投資損失引当金繰入額（349百万円）の影響により大幅な赤字を計上することとなりました。

(業績予想に関する留意事項)

本資料における予想は発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以 上